

●現状の稼働状況

- ・温水・蒸気ボイラ本体から各系統の温水配管及びバルブ類の一部で保温されていない露出部がある。

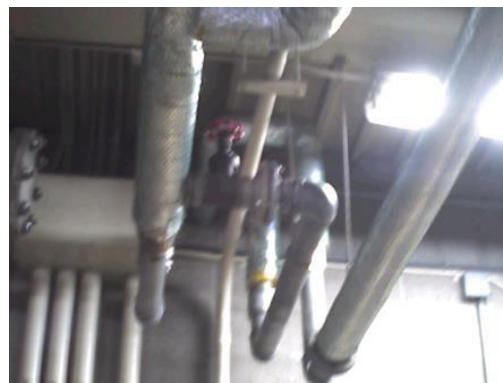
●対策方法

- ・未保温箇所を保温することで、放熱損失を低減する。

●サーモグラフィによる露出配管の表面温度測定



弁体表面温度
69.2℃



弁体表面温度
68.6℃



表面温度
106.5℃

